



平成26年度 第4号
平成27年3月19日

連合自治会ニュース

橋北地区連合自治会長 山内 満

自治会の結束でさらなる地域の活性化を

この1年、連合自治会は皆様のご協力でご精一杯の活動を行なってきました。

その特徴的な活動として、①「ゾーン30」の工事をスタートさせ出入口及び三滝川左岸堤防道路の整備を実施し、平成27年度に向け全面的な工事を計画しています。②施設跡地利用検討委員会は新年度工事に向けて改築設計費6,330万円を予算決議させ、平成28年度工事完成に向けスタートしました。③近鉄高架化工事では川原町駅下り線（四日市方面）を昨年10月に切り替え開通し、平成28年度は上り線（名古屋方面）開通を予定、ようやく地域全体に少しずつ活性化の動きが出てきました。

一方、防災関係では初めて小中学生と住民の皆さんが一体となった小中合同総ぐるみ防災訓練を取り組み、小学校屋上に完成した非常用避難階段も使用し、避難訓練には住民の皆さん1,000人余りの参加で大いに盛り上がりました。

さらに台風11号による市の「大雨特別警報」発令に基づく市内全域避難指示では区内各避難所へ62人の住民の皆さんが避難され、地区防災組織連絡協議会のメンバーが実戦部隊となり、自主的に避難所の受け入れ態勢をつくり、事故もなく対応にあたって頂きました。これらの取り組みに感謝をいたします。

今後とも橋北地区が各自治会長の強固な結束の中で、地域の活性化に少しでも前進することをお願いしお礼とします。



自治会活動の紹介



京町東自治会は、東は東新町、南は川原町、西は京町西、北は浜一色町に接し、121世帯、309人が暮らしている住宅地域です。

高齢化率が橋北地区32.86%を超える33.01%、55歳以上も50%を超える年齢10歳未満 17名、10歳～19歳 24名、20歳～29歳 27名、30歳～39歳 34名、40歳～49歳 31名、50歳～59歳 42名、60歳～69歳 61名、70歳～79歳 45名、80歳～89歳 25名90歳以上 3名が住民内容です。

数字的には、近い将来に地域の担い手を確保できなくなるという「準限界集落」ともいえる状況にあります。

すでに自治会独自の事業はなく、このままでは自治会活動など共同体としての機能が衰え、消滅に向かうとされる「限界集落」（65歳以上が50%を超える集落）になってしまいます。

幸い最近、空き地や空き家が活用され、若い人たちの自治会加入も出てきています。

誰もが、いつまでも安心して暮らせる地域を実現していくために、地域全体がひとつとなり力を合わせた活動とその為の自治会が期待されています。ご多分にもれず役員のみならず手が足りない等当面の課題もたくさんあり、困難ではありますが、他自治会の活動も参考にしながら頑張っていきたいと思っておりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



京町東自治会 会長 進士 久雄

平成26年度橋北地区市民センター館長企画による事業で、地域住民対象の「おとなの小学校」が開校、9月より2月にかけて各講師による一般社会勉強を10回（講座）行い、また午後からは3クラブ（健康クラブ、食クラブ、音楽クラブ）など30人の受講生が楽しい時間を過ごされました。

次年度（平成27年）も開催予定になっていきますので、地区の皆さん是非参加してください。



橋北地区連合自治会

文化・広報部

発行責任者 山内 満

編集責任者 山本 勇三

